

京都大学経済研究所シンポジウムシリーズII：豊かさを育むエビデンスベース社会の実現に向けて 第4回

エビデンスベース社会の確立： 文理融合と科学技術コミュニケーションの実現に向けて

(1) 開会挨拶

矢野 誠 (CAPSセンター長・教授、経済産業研究所 (RIETI) 所長)

(2) 京都大学経済研究所先端政策分析研究センター (CAPS) 教員による研究報告

・報告1：広田茂 (CAPS准教授) 「健康・医療データと社会経済行動データの統合分析の試み」

・報告2：要藤正任 (CAPS准教授) 「ソーシャル・キャピタルと世代間のつながり」

・報告3：伊藤公二 (CAPS准教授)

「企業と労働者をデータでつなぐ：Matched employer employee data を利用した分析」

ディスカッション

(3) パネル・ディスカッション

モデレーター：小嶋大造 (CAPS准教授)

パネリスト：大島まり (東京大学大学院情報学環/生産研究所教授)

横山広美 (東京大学国際高等研究所カブリ数物連携宇宙研究機構教授)

赤池伸一 (文部科学省科学技術・学術政策研究所科学技術予測センター長)

矢野誠 (CAPSセンター長・教授、RIETI所長)

話題提供1：大島まり (東京大学教授) 「研究成果の社会実装に向けた科学技術コミュニケーションの役割」

話題提供2：横山広美 (東京大学教授) 「学術の大型プロジェクトの現在」

ディスカッション



大島 まり

・東京大学大学院情報学環/生産技術研究所 教授、
東京大学生産技術研究所 次世代育成オフィス室長

東京大学大学院工学系研究科博士課程修了、博士(工学)。

大学院時代にマサチューセッツ工科大学、

助手時代にスタンフォード大学へ留学。

専門はバイオ・マイクロ流体工学。

「研究を通しての科学技術教育」にも取り組み、
次世代の理工系人材の育成に力を注いでいる。



横山 広美

・東京大学国際高等研究所カブリ数物連携宇宙研究機構 教授

素粒子実験で博士号を取得、東京工業大学、

総合研究大学院大学、東京大学大学院理学系研究科を経て

2017年より現職。

専門は基礎科学、大型科学のコミュニケーション論。



赤池 伸一

・文部科学省科学技術・学術政策研究所科学技術予測センター長、
内閣府参事官等を併任

東京大及びサセックス大で修士号を取得後、
東工大においてPh. D.

1992年科学技術庁入庁、文部科学省、在スウェーデン大使館、

一橋大学教授等を経て2016年より現職。

専門は科学技術政策研究等。

2017年
4月25日 火
10時30分～12時30分
京都大学東京オフィス大会議室

主催：
京都大学経済研究所
・先端政策分析研究センター (CAPS)
・エビデンスベース社会構築事業
・先端経済理論の国際的共同研究拠点

共催：
京都大学社会科学統合研究教育ユニット
公益財団法人KIER経済研究財団
独立行政法人経済産業研究所 (RIETI)